

番号
名前

① 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(解答はすべて解答用紙に記入すること)

口で言えば多くの日本人、しかも、相当教育のある人たちの書く文章が骨なしになってしまっているのであるか。一なくてはならない。

幼児が言葉をどうして覚えるのか、まだわかっていないところが多いが、母親、あるいは、その代わりをする人の無自覚的な愛情による言語教育を受けて短期間にめざましい進歩を見せるものと想像される。数歳になればたいていのことは言えるようになる。そのときの幼児の頭には、「W」の原型がほぼできあがっているように見えてよい。言語学ではこれを言語能力と呼んでいる。

母親から方言のはいつた言葉を習うと、子供はそういう原型をもつことになる。(1)三つ児の魂百まで、と言われるようにこれは一生つづく決定的影響力をもっている。こういう原型があればこそ、われわれは、ほとんど無意識に会話をすることができるのである。(略)

「a」この話し言葉の原型は、そのままでは文章を書くときの原型としては役立たない。話し言葉と書き言葉はおの別の独立した原型をもっているらしい。雄弁家が名文家とはかぎらないし、「b」逆に、文筆家が話上手ともかぎらない。どこの国でも、うまく話せばうまく書けるはずだ、話すように書けばよいの、などと呑気なことを言う言語教育家があるものだが、みみずの「A」「B」みたいな文章を書くならともかく、まともな文章を話すように書くことはできない。話し言葉と書き言葉は「B」が違うのである。

(2)座談会記事というものは、速記した座談を文章にまとめるわけだが、速記のままでも読みものになることはまず皆無だと言つてよい。かなり徹底した改変が必要である。「c」おもしろいことに、座談会の席で聞いておもしろいときほど、後で速記を読むと(3)シリ減裂になっていくものである。逆に、話があまりはずまず、「d」退屈な感じのときの方が、活字になってから読むとしっかりした充実感があつて、おもしろく感じられることもある。そういうことから考えても、「e」日本語では言文はまだ不一致であるといつてよい。(略)

幼児のときにできる話しことばの原型は文章を書くときの役に立たないから、別に文章の原型を作り上げる努力が必要なのに、そのために長じてナメクジのような文章を書かなくてはならない(4)羽目になる。話しことばの感覚はあつても、文章の感覚をもたないでしまう人間が多い。はじめから、文章に関して、三つ児の魂に相当するものがないのだから、大人になつても、文章の原型についての感覚が欠如しているのは当然であろう。これで文章を書くとするから「X」する。小さいときに「C」をつける努力もしないし、ろくに音楽の修業もしないでいて、いい年になってから急に作曲をしようというやうなものである。

われわれの国では欧米のようにサインひとつで銀行から金が引き出せるという習慣が確立していないから、自分の名前をいつも同じように書けるといふ人がすくない。書きたびに字がひどく違う人もあつて、外国へ行ったときに、銀行で金を引き出すのに手間どつたという話もよく聞く。小さいときからサインが重視される社会の中で生活していれば、自署は自然しつかりした原型をもつようになる。これを「Y」などのせいにするのは過つている。あることに関心をもつか、もたないかという社会習慣が、そこに住む人間のそれに関する能力に変化を生じさせる。文章の型も同じことで、自覚がないから、原型も育たないだけである。

言葉の教育における目下の「Z」は、日本人の文章感覚に対する自覚を高めること『D』。注意してみればただちに原型の欠如といふしきな事態を発見するであろう。そこまでの認識ができれば、問題は半ば以上解決したと言つても過言ではない。

(外山滋比古「日本語の論理」による)

問一 「V」には同じ言葉が入る。本文を参照し書け。

問二 「W」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 幼児言語
- 2 話し言葉
- 3 書き言葉

問三 傍線(1)「三つ児の魂百まで」とはどういう意味のことわざか。次の中から選び符号で記せ。

- イ 幼いときに習い覚えたことは、一生涯忘れない
- ロ 三人の子供が覚えたことは、互いに教えあうのでいつまでも覚えている
- ハ 幼いときに形成された性格は、年をとっても変わらない

問四 「a」へ「e」に入れるのに適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 すくなくとも
- 2 あるいは
- 3 ところで
- 4 しかも
- 5 どちらかという

番号
名前

問五 「A」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- a 絵柄 b たわごと c 文字

問六 「B」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- イ 倫理 ロ 基本 ハ 論理

問七 傍線(2)「座談会記事」というものは、……読みものになることはまず皆無だと言っていてよい」とあるが、作者はその理由を端的に述べている部分がある。それを抜き出し文末を「……から」という形で書け。(からを含み、二〇字以内)

問八 傍線(3)「シリ」の「シ」と「リ」は、次の1〜4の内のどれか。適切なものを選び符号で記せ。

- ① 「シ」は 1 シ点 2 シ要 3 シ密 4 シ示
- ② 「リ」は 1 リ用 2 ウラ側 3 リ反 4 疲リ

問九 傍線(4)「羽目になる」とはどういうことか。次の中から最も適切なものを選び符号で記せ。

- ア 仕事や状態がスムーズに進むこと イ 興に乗って度を過ぎること ハ 困った状態になること

問十 「X」「Y」「Z」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- a 四苦八苦 b 展望 c 印鑑 d 急務 e 国民性 f 周章狼狽ろうばい

問十一 《C》に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 スキル 2 音程 3 音感

問十二 「D」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- ア だけとはかぎらない イ でなくてはならない ウ でなくていい

問十三 次の中から、言文一致の小説を書いた作家と作品の正しい組み合わせを選び、符号で記せ。

- イ 二葉亭四迷―浮雲 ロ 尾崎紅葉―五重塔 ハ 坪内逍遙―田舎教師

III 次の文章を読み、傍線①〜⑦の内、漢字には読みがなをカタカナは漢字に直せ。

風疹の予防接種を受けるよう妊娠した妻に言われても、「忙しい」「①メンドウ」と腰を上げない夫。人気漫画「コウノドリ」にそんな男性が登場する。先天的な障害のある10歳の少女と出会い、心を②ユさぶられる▼「私はね、お母さんのおなかの中で風疹にかかっちゃって目も見えないし、胸も苦しい」。妊娠初期の女性が③カンセンし、赤ちゃんに障害が及ぶ「先天性風疹症候群」である。日本では昨夏に始まった風疹の流行がやまず、今年の患者数は早くも2千人を超えた。胎児への影響が心配される▼米国やカナダ政府は「妊婦に日本は④イチジルしく危険」と⑤トコウを控えるよう警告している。患者の多い地域として東京、神奈川、大阪などが挙げられた▼もちろん国も手をこまねいているわけではない。抗体を持たない層がいま40歳から57歳までの男性に多いことを⑥ジュウシ。抗体検査やワクチン接種が無料でできるクーポン券をこの世代に発送している。恥ずかしいから、私自身もその一人だと知らずにいた▼妊娠中の女性たちにすれば、町中ですれ違う中年男性こそ⑦脅威だろ。私も先日、内科で検診を受けた。「抗体の数値は十分でした。接種は必要ありません」と医師。ようやく胸が晴れた▼「抗体のない男性が風疹をうつした自覚のないまま、妊婦は誰にうつされたか自覚のないまま、赤ちゃんに障害が生じてしまう」。漫画の主人公である産科医鴻鳥サクラが説く。予防接種より他に赤ちゃんを守るすべはないと改めて胸に刻む。  
(『天声人語』令和元・九・六)



配点

Ⅰ

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七		問八	問九	問十	問十一	問十二	問十三
V	W	(1)	a	A	B	(2)		(3)	(4)	X	C	D	
原型	2	ハ	3	d	ハ	日	る	1 ①	ハ	a	3	イ	イ
5点	4点	4点	b	4点	4点	7点	か	3	4点	4点	3	4点	4点
			c										
			d										
			e										
			5										
2	1	5	20	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
は	言	文	は	ま	だ	不	一	致	で	あ			
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

Ⅱ

①	面倒
②	揺
③	感染
④	著
⑤	渡航
⑥	重視
⑦	きょうい

↓ 7×3点 1121点

番号
名前